

施策評価シート（令和5年度実績）

施策名 **23 潤いのある環境を守り生かす**

施策コード 030023

1. 施策の体系と担当課		
第5次総合計画	将来像	3 みんなでつくる 安全・安心で快適に暮らせるまち
主管課	都市整備部 公園緑地課	
関係課	都市整備部 道路整備課, 都市整備部 農林課, 教育部 社会教育課, 教育部 文化財保存活用室	

2. 施策の目標	
10年後の目標	
市民の参加により、豊かな自然が守られ、生物多様性が確保されているとともに、公園や緑地などの身近な潤い空間が管理され、まち全体が美しく保たれることで、誰もが潤いを感じることができる環境が整っている。	
10年後の目標に向かっの主な取組み	
市の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ○「緑の基本計画」を改定し、公園施設の統合を含め、現状に即した効率的な公園の整備、維持・管理を行う。 ○自然環境の保護につながる市民活動への積極的な支援を行うとともに、自然環境保護意識の向上のため、地域と連携し、環境学習の機会を増やす。 ○公益財団法人大阪みどりのトラスト協会とともにブナ林の保護増殖を進める。 ○都市部のため池オアシスを充実させ、市民の憩いの場となるよう整備する。 ○環境美化活動及びアドプト・プログラムに、より多くの市民や団体及び事業所等に参加してもらうよう、周知、啓発に努めるとともに継続的な活動につなげる。 ○国の都市農業振興基本計画に基づき、都市農地を貴重な緑地として位置づけ、担い手への支援や市民農園の推進等により、都市農地の保全に取り組む。 ○自然遊学館の行事として、魅力ある自然観察会や自然環境保護に興味を持つ人を増やす講座を充実し、環境保全に取り組む人材を育成する。 	
市民・団体・事業所等の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> ○自然保護のためのボランティア活動へ積極的に参加する。 ○地域コミュニティ活動の一環として、市と連携して公園や道路の管理に長期的に取り組む。 ○農業者とともに清掃美化活動などを通じ、貴重な空間である都市部の農地やため池の保全に努める。 ○市民農園での農作業体験などを通じ、農業への理解を深める。 ○団体等は近木川や海浜部の環境保全活動に大阪府、市と連携して取り組む。 	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
平成29年5月に「都市緑地法等の一部を改正する法律」が公布され、都市緑地法においては、緑地の定義に「農地」が位置づけられたほか、生産緑地法では、生産緑地地区の面積要件の引き下げや特定生産緑地制度が創設された。	
新たな市民ニーズ	
公園・緑地などのオープンスペースは市民が憩える場であり、今後、多様な利活用を推進していくため、行政、市民、民間事業者が参画した新たな公園づくりが求められている。	

4. 施策にかかるコスト								
		単位	R4予算	R4決算	R5予算	R5決算	R6予算	
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		4,78		6,23	
		会計年度任用職員数			1,0		1,0	
	人件費	直接人件費	千円		34,508		44,368	
		間接人件費			3,930		9,830	
	直接事業費	114,867		126,360	308,025	269,624	414,597	
間接事業費		215			301			
フルコスト		165,013			324,123			
財源内訳	使用料及び手数料	千円	595	621	19	661	493	
	国庫支出金			7,435	5,250	83,968	79,500	
	府支出金		1,144	1,178	1,114	1,191	1,109	
	市債				4,700	38,500	180,400	
	その他		179	45,762	0	43,800	180	
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）				110,017		156,003	
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）			112,949	71,364	296,942	101,504	152,915
備考								

5. 施策の成果指標							
成果指標1 アドプト・プログラム事業参加団体数							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
団体	令和5年度	5	増加	4	4	5	5
成果指標2 環境美化ゴミ泥回収量							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
%	令和5年度	22.5	維持		133	130	130
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和5年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性		所見
				人件費						
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込)			
アドプト・プログラム事業 (道路)	認定箇所数			169	185	35	48	成果	B：現状維持	地域の団体が愛着を持って街路の環境美化に取り組んでいる。
	R5実績	4	箇所	493	230	2,447	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
環境美化事業 (道路)	環境美化ゴミ泥土回収量			6,001	5,664	8,007	8,924	成果	B：現状維持	町会・自治会と連携し、環境美化事業に継続して取り組んでいる。
	R5実績	133	トン	2,322	2,227	4,109	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
公園維持補修事業 (公園)	各公園等の除草、清掃、遊具修理などの回数			87,117	91,248	109,515	106,719	成果	B：現状維持	児童公園の除草・清掃は基本、地域の町会・自治会にお願いしており、今後も連携して取り組む。遊具についても点検業務を適切に実施する。
	R5実績	1,177	回	7,114	13,394	20,042	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
公園緑地整備事業 (公園)	工事件数			4,630	17,710	12,212	78,725	成果	B：現状維持	公園の利用状況を踏まえ、効果的な公園整備、遊具の取替えに取り組んでいる。
	R5実績	5	件	6,022	4,246	4,292	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
緑化推進事業 (公園)	緑化推進に伴う活動件数			2,306	1,876	1,966	2,654	成果	B：現状維持	官民が連携し緑化推進に取り組んでいる。
	R5実績	5	件数	3,108	1,847	2,232	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
二色浜駅前広場等整備事業 (道路)	用地・補償契約件数			0	0	116,504	207,000	成果	A：向上を図る	市民の方の公共交通利用の利便性向上に向けた公共交通ネットワーク構築のため必要な事業である
	R5実績	4	件	0	7,750	10,915	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
水間公園整備事業 (公園)	工事及び委託件数			0	0	16,335	5,000	成果	A：向上を図る	貝塚市地域防災計画や緑の基本計画など関連計画に沿った防災機能の強化に加え、地域と一体となった平時の賑わいの創出を図る
	R5実績	1	件	0	347	6,255	0	資源配分	A：資源を拡大	
	最終目標値に対する達成率									
ため池オアシス維持管理事業 (農林)	ため池オアシス箇所数			2,184	2,272	2,264	2,341	成果	B：現状維持	市民に頼みと安らぎを与える水辺空間であるため池オアシスの環境維持は重要である。
	R5実績	2	箇所	820	942	971	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
国定公園内環境保全事業 (公園)	公園内清掃活動回数			1,585	1,563	1,516	1,906	成果	B：現状維持	国定公園の環境維持のため本事業による保全活動は必要である。
	R5実績	120	回	3,568	2,729	0	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									

和泉葛城山 ブナ林保護 増殖事業 (文化)	イベント参加人数			1,260	1,265	1,270	1,280	成果	B：現状維持	今後も引き続きブナ林の保護増殖を推進し、イベントの実施により、本市の豊かな自然環境の保全に対する意識の醸成につなげる。
	R5実績	128	人	2,534	991	2,935	0	資源 配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		196.9%							

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	アドプト・プログラム事業については、新たな参加団体がゼロであった。あとは、概ね達成。
構成事務事業に課題はないか	特になし。
実施主体（国・府や地域・事業所などの役割分担）に課題はないか	市民・企業との協働を推進する。

8. 今後の方向性	
担当部長の所見	市民や民間企業との協働により公園や緑地、水辺などを適正管理し、地域住民が潤いを感じれる環境空間づくりに努めているが、他市では市民の高齢化や企業の撤退による協働解消の事例も散見されており、今後の課題と考える。
担当副市長の意見	緑の基本計画に基づき、市民や地元企業との協働による緑の創出により、潤いを感じることができる環境空間づくりに努める。水間公園については、防災拠点としての機能とともに、水間エリアのにぎわい創出に資する都市公園となるよう整備していく。また、公園管理について、近隣市町村との広域連携ができるよう調整していく。